

生分解性マルチとタバコの生育

福島県たばこ試験場
平成15年度成績概要

1 部門名

特用作物－タバコ－施設資材
分類コード 06－01－35000000

2 担当者

吉田辰雄

3 要旨

生分解性マルチフィルム展張下のタバコの生育と、生分解性マルチフィルムの特性について検討した。

(1) 生分解性マルチフィルムの特性

生分解性マルチフィルムは通気性を有し、蒸発量(水盤に展張し蒸発量を測定)は、48～83ml/m²/日であった。透明ポリエチレンフィルムは3ml/m²/日、全面シルバーマルチフィルムは4ml/m²/日であった。

(2) 栽培上の留意点

ア 霜害を受けやすいので、移植を遅らせる。

被害指数は、生分解性マルチフィルムが1.24～2.34、透明ポリエチレンフィルムが1.18～1.28、全面シルバーマルチフィルムが1.00～1.28であった(被害指数、障害無:1、微:2、少:3)。

イ マルチ内の土壌水分が低下し初期生育が遅れるので、移植後初期灌水を行う。

生分解性マルチフィルム内の土壌水分は、pF1.6～2.5、透明ポリエチレンフィルムはpF2.0～2.6(5月8日～29日)であった。

ウ 雑草が繁茂しやすいので、使用基準の除草剤を散布し、大土寄せを行う。

4 その他の資料等

平成10年～14年度成績概要